

第4次日野市特別支援教育推進計画（概要版）

日野市教育委員会

1. 計画策定について

日野市教育委員会では、児童・生徒の自立や社会参加に向けて、一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすため、適切な指導及び必要な教育的支援を行う、特別支援教育を推進しています。

近年、国や東京都においては、関係法令の施行や改正、推進計画の策定があり、特別支援教育を取り巻く環境は大きく変化しています。

日野市においては、福祉と教育が一体となった相談・支援機関として、平成26年度にエール（日野市発達・教育支援センター）を開設し、エールでは、切れ目のない個別の支援計画として「かしのきシート」を運用しています。

また、平成28年度から特別支援教室（日野市呼称・ステップ教室）の導入が開始され、日野市では、平成30年度までに全ての小・中学校に導入していく予定です。

本計画は、通常の学級に特別支援教育の視点を取り入れたひのスタダードの取組や日野市独自のリソースルーム事業なども含め、特別支援教育に関わる内外の動向を踏まえて、今後3年間で日野市の特別支援教育を更に推進するため、取組むべき施策を示したものです。

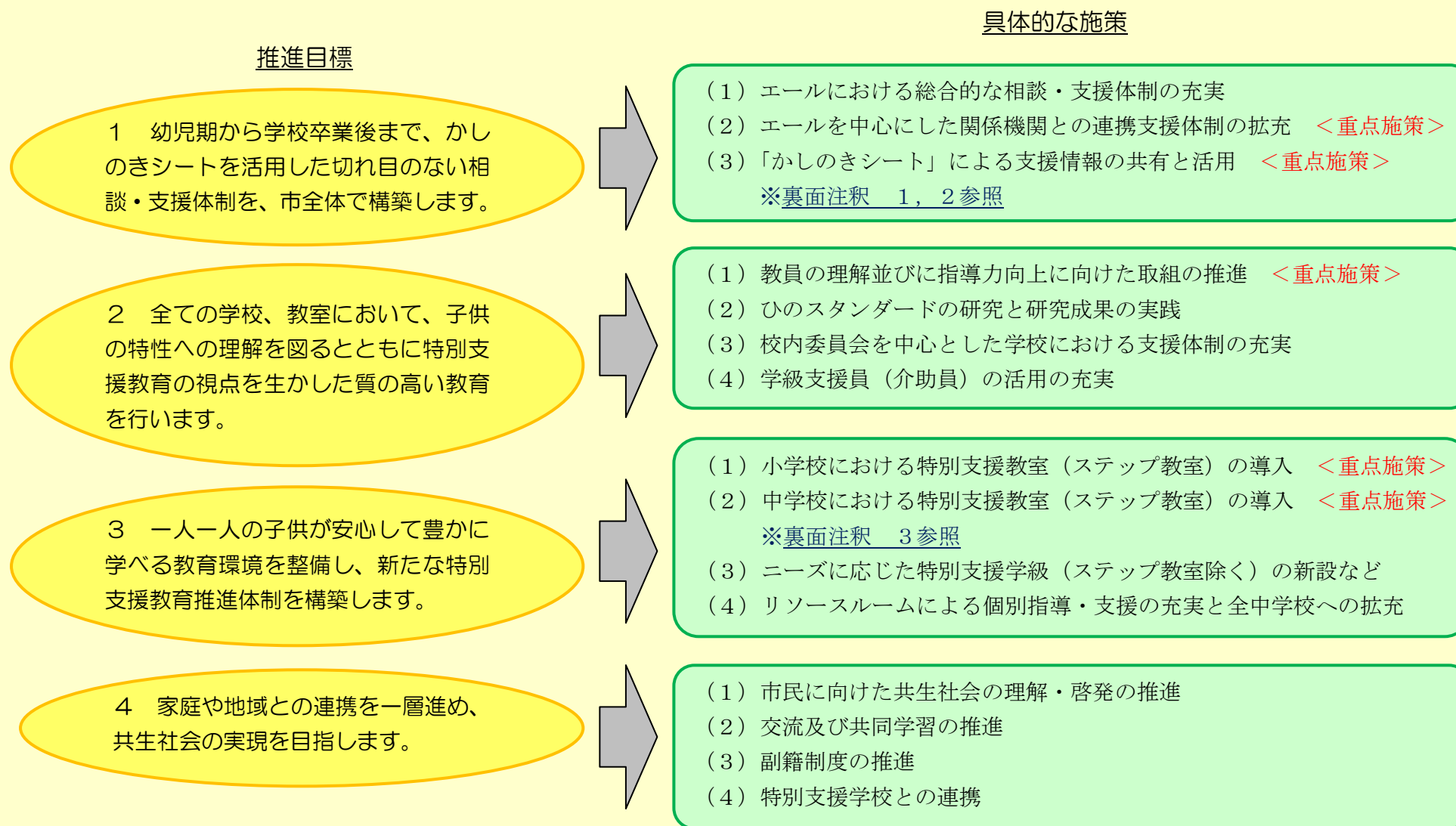
本計画の推進により、本計画の基本理念が実現できますように、教育行政や学校関係者だけでなく、児童・生徒及び保護者のみなさま、広く市民のみなさまのご理解とご協力をお願い致します。

2. 計画期間 平成29年度から平成31年度までの3年間

3. 基本理念

幼児・児童・生徒一人一人の能力を最大限に伸長するために、学校・家庭・地域及び関係機関と一層密接な連携の下に、幼児期から学校卒業後までを見通した多様な特別支援教育を展開し、社会的自立を図ることのできる力や地域の一員として生きていける力を培い、共生社会の実現に寄与します。

4. 推進目標と具体的な施策

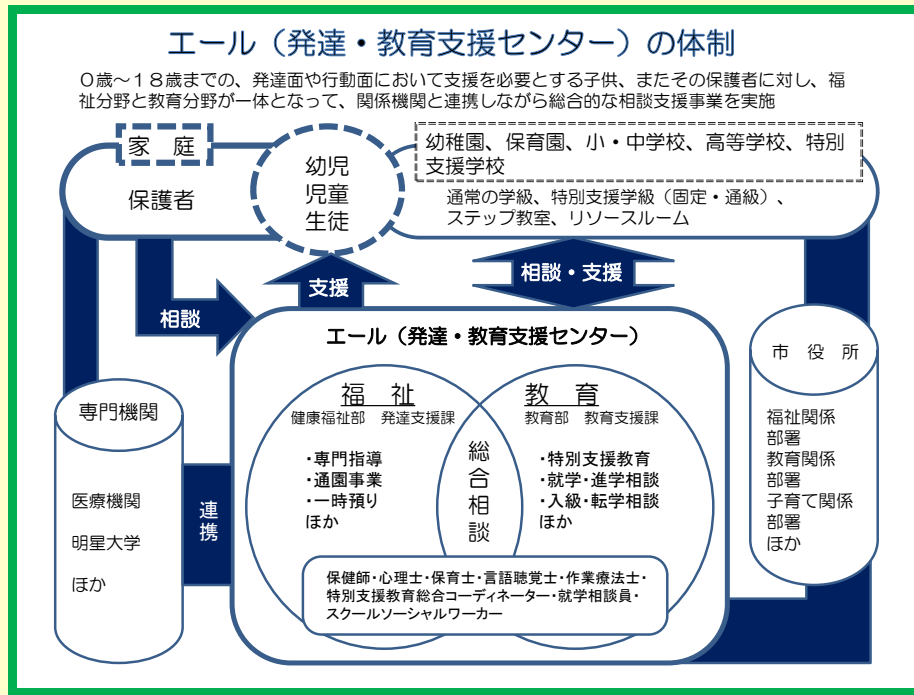


5. 推進体制

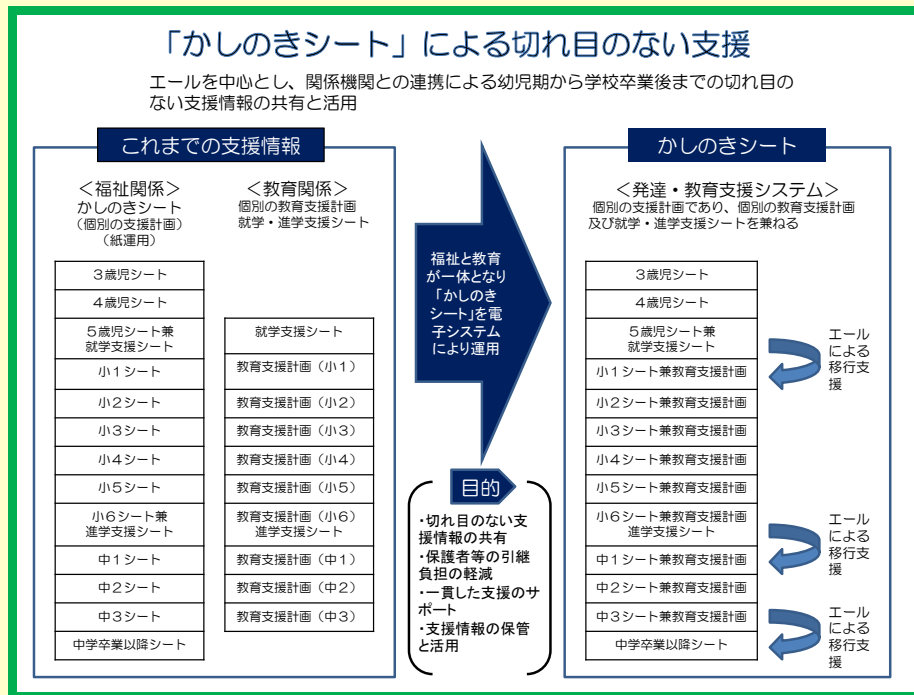
特別支援教育推進委員会

計画を推進するための組織として、学識経験者、学校関係者、福祉関係者、教育関係者、関係機関等で構成する「特別支援教育推進委員会」を設置し、計画の進捗状況の把握、点検と評価とともに、今後の日野市の特別支援教育についても検討していきます。

※1 「エール（発達・教育支援センター）」の体制については、本計画 P.11、12 参照



※2 「かしのきシート」については、本計画 P.12、13 参照



※3 「特別支援教室（ステップ教室）」については、本計画 P.21～23 参照

